



2020年10月9日

各位

会社名株式会社サーバーワークス
 代表者名代表取締役社長大石良
 (コード番号: 4434 東証マザーズ)
 問合わせ先 取締役 大塩 啓行
 TEL. 03-5579-8029

特別利益（投資有価証券売却益）の計上及び

2021年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年2月期第2四半期決算において特別利益（投資有価証券売却益）を計上する見込みとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、2020年10月9日開催の取締役会において、2020年4月14日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別利益（投資有価証券売却益）の計上

当社は、資産の有効活用及び財務基盤の強化を目的として、投資有価証券（上場株式1銘柄）について当該株式の一部を売却いたしました。その結果、2021年2月期第2四半期において、投資有価証券売却益246百万円を計上する見込みとなりました。

2. 2021年2月期 通期業績予想数値の修正（2020年3月1日～2021年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 8,003	百万円 417	百万円 426	百万円 306	円銭 45.40
今回修正予想（B）	8,003	392	377	448	62.00
増減額（B－A）	0	△25	△48	141	
増減率（％）	0	△6.1	△11.4	46.1	
（ご参考）前期実績 （2020年2月期）	6,811	417	421	333	49.49

(注) 1. 2020年2月期及び2021年2月期の1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。

2. 2019年9月1日付で普通株式1株につき2株、2020年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益金額を算出しております。

3. 修正の理由

2021年2月期の通期業績予想におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による国内の経済活動停滞の影響を受け、「クラウドインテグレーション」におけるプロジェクトの見送りや受注規模の縮小などが発生しております。一方、リモートワーク・テレワーク環境の導入など、クラウドに対する新たな需要が喚起され、顧客のクラウドサービスの利用は増加傾向にあり、当社事業の核である「リセール」の売上高は予想を上回つ

て順調に推移しています。

なお、1. に記載の通り投資有価証券の一部売却による特別利益を計上する一方、行使価額修正条項付第5回新株予約権の発行（第三者割当）に伴う諸費用の計上を行いました。また、本日公表いたしました当社株式の「東京証券取引所本則市場への市場変更申請決議に関するお知らせ」に記載のとおり、東京証券取引所市場第一部への上場市場変更申請の決議を行ったことに伴い、今後、関連する諸費用の発生を見込んでおります。

以上のとおり、売上高及び売上原価、販売費及び一般管理費、営業外費用、特別利益の見直しを行った結果、2020年4月14日に公表いたしました2021年2月期の業績予想を上記の通り修正いたします。

※ 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまな要因により予想値と異なる場合がございます。

以 上